

平成 30 年 12 月 6 日

JISA Awards 2019 応募要領

一般社団法人情報サービス産業協会

1. 「JISA Awards 2019」の趣旨

JISA は、構造改革と IT イノベーションにより、知識集約型社会を実現し、我が国の国際競争力向上に貢献することにより、業界地位の向上及び業界ブランドの確立を目指している。

そのためには、JISA 会員各社が切磋琢磨し、国際的に通用する独創的な技術・ノウハウ・製品・IT サービスの創造に鋭意取り組んでいくことが重要になる。

また、JISA 会員各社が経営高度化を図り、マネジメントシステム及び諸制度を改革し、グローバルにその先進性を示すことにより、名実ともに魅力ある産業としての基盤を築いていくことが必要になる。

そこで、JISA は上記取組を奨励・促進するとともに、その成果を業界内外に示すことにより、情報サービス産業の存在感と重要性を広く社会に情報発信するため、平成 23 年度に表彰制度「JISA Awards」を創設。以後毎年実施してきており、今回で 8 回目となる。

2. 「JISA Awards 2019」表彰対象

「顧客に提供する情報サービス」もしくは「IT企業の経営の仕組み・制度」とする。

表彰対象システム ¹	評価の側面(例)	表彰対象者の要件
顧客に提供する情報サービス ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ITを活用したビジネスモデル ・開発³・運用に係る基盤技術・統合技術 ・業務ノウハウ ・生産管理、対顧客関連マネジメント⁴・対協力会社関連マネジメント 	1.システムの創造者又は創造者が所属する団体・企業であること。
IT企業の経営の仕組み・制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ推進、ワークスタイル変革等による生産性向上やワークライフバランスの実現 ・高収益性を実現する価格モデルの考案・実践 ・イノベーション人材の育成・獲得 ・知的財産の戦略的な活用 ・子ども向け情報教育など CSR 関係の取組 ・ITによる地域経済社会の活性化 ・ITによる中小企業の経営革新 ・グローバルビジネスへの挑戦 ・その他、IT企業の経営高度化に資する取組 	2.システムの創造者が所属する企業・団体が JISA 会員(子会社及び団体会員傘下企業を含む。)であること。

¹ これまで JISA Awards に応募したことがない、現存する（販売されている・使われている等）システム（情報サービス、仕組み・制度等）を対象とする。

² (1) 「顧客に提供する情報サービス」には、「情報サービス（情報通信システム、ソフトウェア、IT サービス、IT プロダクツ等）自体」及び「情報サービス提供の仕組み」が含まれる。

(2) 表彰対象は、IT サービスや仕組みの「創造者」本人又は「創造者」が所属している企業とする。顧客と主契約の企業が支援した企業かは問わない。

³ パッケージを含む

⁴ 「対顧客マネジメント」には、販売管理、契約管理（価格体系、契約体系、変更、検収条件、見積方法等）等が含まれる。

3. 「JISA Awards 2019」の表彰内容、選考方法

(1) 表彰内容⁵

国際的に通用する⁶独創的な⁷システム⁸の創造者（組織、チーム等含）を表彰する。

(2) 選考方法

応募フォームの記入内容やプレゼンテーションの内容を判断し選考する。

4. 応募資格

JISA 会員（子会社及び団体会員傘下企業を含む。）

5. 募集期間

平成 30 年 12 月 3 日（月）～平成 31 年 2 月 22 日（金）

6. 応募方法

(1) 提出する書類

応募の際に提出いただく書類は、以下のとおり。

①JISA Awards 2019 応募シート

別紙の様式に所定事項を記入。選考において応募システムの「国際的に通用する独創性」が判断できるよう十分な説明を行うこと。

②添付書類

応募事例の詳細を説明するもの（様式等は自由）。

(2) 書類の提出方法

郵送（宅配便、メール便等を含む。）又は E-MAIL

⁵ 各賞は選考委員会の判断により柔軟に決めるものとする。

⁶ 「国際的に通用する」とは、独創性の水準（国内のみならず世界的に通用するような独創性）を表すものであり、海外での販売・利用や外国語へのローカライズ等、具体的なグローバル化の実績を求めるものではない。

⁷ 「独創性」とは、(1) 部分が既存でアセンブリしたシステム全体が創造であること（改善）、(2) 部分もシステム全体も創造であること（改革）、のいずれかを満たすこととする。

⁸ 「システム」とは、(1) 情報通信システム、ソフトウェア、IT サービス、IT プロダクト、及びその開発・運用のための要素技術・業務ノウハウ、管理技法等、情報サービス産業全般で行われる情報システムのライフサイクル全般における生成物及び知的財産・ノウハウ、(2) IT 企業の経営全般に亘るマネジメントの仕組み・制度全般とする。

(3) 書類提出先・お問い合わせ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-3-4 S-GATE 大手町北 6F
一般社団法人情報サービス産業協会 「JISA Awards 2019」事務局
TEL 03-5289-7651 E-MAIL awards@jisa.or.jp

7. 審査

(1) 体制

審査は、外部有識者で構成する「JISA Awards 選考委員会」において厳正・公正に行われる。

※選考委員会メンバー（予定）

委員長	坂村 健	東洋大学	情報連携学部	学部長
委員	青山 幹雄	南山大学	理工学部	ソフトウェア工学科 教授
〃	川浦 立志	独立行政法人	情報処理推進機構	理事
〃	土井美和子	国立研究開発法人	情報通信研究機構	監事
〃	夏野 剛	慶應義塾大学	政策・メディア研究科	特別招聘教授

(2) 手順

①書類選考 (3～4月頃)

応募書類について応募システムの「国際的に通用する独創性」を選考委員会が判断し選考する。書類選考を通過した応募システムは、最終選考へと進む。

②最終選考 (4～5月頃)

選考委員会において応募システムのプレゼンテーションを行う。その後、選考委員会にて総合的な審査を行い、受賞者を決定する。

8. 審査結果の発表

「JISA Awards 2019」受賞者は、本人に通知するとともに、プレスリリースを配信しウェブサイトに掲載⁹する。

9. 授賞式・受賞記念講演会

平成31年6月11日のJISA定時総会において「JISA Awards 2019」の授賞式を行い、受賞者には楯を授与する。併せて、有識者による記念講演とともに、受賞者等が受賞システムの概要や創造を成し得たポイントについてアピールする場を設ける。

10. 受賞者・企業の特典

- (1) 「JISA Awards 2019」受賞者・企業はJISAの行事やJISA会報・協会案内パンフレット・JISAウェブサイト等の媒体で紹介される。
- (2) 「JISA Awards 2019」受賞のロゴマークを使用できる¹⁰。
- (3) 協会外での様々なPRの機会がある¹¹。

11. スケジュール (予定)

募集	: 平成30年12月3日～平成31年2月22日
書類選考	: 平成31年3～4月頃
プレゼンテーション、本審査	: 平成31年4～5月頃
授賞式	: 平成31年6月11日
受賞記念講演会	: 平成31年10月頃

⁹ 応募書類等の記載内容に事実と異なることや他の権利などの侵害があると判明した場合など、発表後であっても入賞を取り消し、又は、留保することがある。

¹⁰ 詳細は5ページ参照

¹¹ アジア・オセアニアコンピュータ産業機構 (ASOCIO) の表彰制度「ASOCIO Award」への推薦・受賞、情報処理学会の論文誌「デジタルプラクティス」での論文掲載等の実績がある。

【参考】「JISA Awards」ロゴマーク〈ホルスの眼〉



■デザインコンセプト

ホルスとは、エジプト神話に登場する最も偉大な天空と太陽の神の名称であり、王のシンボルとも言われています。エジプトの神々の中で最も古く、最も多様化した神としても知られています。

本案のモチーフとなる“ホルスの眼”は、時代の流れに合わせ柔軟に変化、再構築されていくホルス神の多様性、拡張性に、テクノロジーの変遷を重ね合わせイメージされています。さらに、ホルスは幼児神と“太陽の子供”の要素を持つと言われており、「JISA Awards」が革新的な創造を見守るとのメッセージをデザインに込めています。また、眼球に地球をシンボリックにデザインすることにより、「JISA Awards」が国際通用性を評価するものであることを表現しています。